

### フィリピンの概要

- 1 面積：1 299,404 平方キロメートル（日本の約 8 割）。7,109 の島々がある。
- 2 人口：約 1 億 98 万人（2015 年フィリピン国勢調査）
- 3 首都：マニラ（首都圏人口約 1,288 万人）（2015 年フィリピン国勢調査）
- 4 民族：マレー系が主体。ほかに中国系，スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族
- 5 言語：国語はフィリピン語，公用語はフィリピン語及び英語。80 前後の言語がある。
- 6 宗教：ASEAN 唯一のキリスト教国。国民の 83% がカトリック，その他のキリスト教が 10%。イスラム教は 5%（ミンダナオではイスラム教徒が人口の 2 割以上）。
- 7 平均寿命：男性 65.0 歳，女性 71.9 歳（フィリピン国家統計局）
- 8 識字率：96.6%（世界銀行 2015 年）
- 9 主要産業（出典：フィリピン国家統計局）： 農林水産業（全就業人口の約 27% が従事）（2016 年 1 月）
- 10 GDP（億米ドル）：（出典：IMF）3,043（2016 年以下略）
- 11 一人当たり GDP（米ドル）：（出典：IMF）2,947
- 12 経済成長率（%）：（出典：フィリピン国家統計局）6.8
- 13 物価上昇率（%）：（出典：フィリピン国家統計局）1.8
- 14 失業率（%）：（出典：フィリピン国家統計局）5.7
- 15 総貿易額（億米ドル）：（FOB ベース。フィリピン国家統計局） 輸出 574.1 輸入 841.1
- 16 貿易品目（出典：フィリピン国家統計局）
  - (1) 輸出：電子・電気機器（半導体が大半を占める），輸送用機器等
  - (2) 輸入：原料・中間財（化学製品等の半加工品が大部分），資本財（通信機器，電子機器等が大部分），燃料（原油等），消費財
- 17 貿易相手国・地域：（出典：フィリピン国家統計局）

シェア順

  - (1) 輸出（2016 年）：日本（20.7%），米国（15.4%），香港（11.7%），中国（11.0%），シンガポール（6.6%）
  - (2) 輸入（2016 年）：中国（18.5%），日本（11.8%），米国（8.9%），タイ（8.0%），シンガポール（6.6%）

度成長を続けるフィリピン

スーパーマーケットのその後の変化を視察するつもり

もう一つは、「コレヒドール島」の戦跡めぐり

天候が悪くてなかなか行くことができなかった場所

自宅近くの押上スカイツリー駅のSLのイラストが懐かしい

私の小学校の修学旅行はSLであった

窓から顔を出していると煤(すす)で顔が黒くなったことを覚えている

時々顔に水しぶきが飛ぶ

中には口を開けているものもいた

後で分かったことだが、当時の汽車のトイレは垂れ流しであった



昔はこんな駅から、新橋～敦賀～ウラジオストクを経由して、シベリア鉄道でパリまでの大陸横断鉄道があった

成田空港の航空貨物の積み込み風景

いつもぼんやり見ている光景 輸出も増えている



エアカーゴの種類も大小ある

マニラに向けて出発

成田～マニラまでは約4時間



いつもの機内食

メインデッシュのパッケージが変わった 写真付きのトップシール包装だ

「これは市販されているのですか？」とCAに聞くと

「市販されてはいません」と答える



「フェットチーネのクリームとハンバーグのトマトソース」

なかなか出来はいい

これはチルドだが、そのうち冷凍食品で市販されるかも知れない

～若き料理人たちによる機内食～

と書かれている



若手を育てる試みはいいことだ

フレンチが3名、和食が2名、中国料理が1名

やはり機内食でも、和食とフレンチの地位は高い

マニラ空港に到着

どのタクシーが安全かチェックする

結局、車1台をチャーターすることになる

渋滞でマカティまで50分もかかる

マカティのホテルまで1000ペソ(約2000円) タクシーの3倍の価格だが安全第一



高度成長していても低所得者の生活が変わらない

貧困から抜け出せない

駐車中の車に物乞いをする子供

ドアをトントンと叩きかなりしつこい



マカティのタイ系ホテルを予約 立地はよい

隣はフィリピン最大のスーパーマーケット「SM(シューマート)」



ホテルは少し古いが快適だ



テレビ画面に名前が書かれているのも気が利いている  
外の景色



渋滞は相変わらず深刻だが、「SKY WAY」という高速道路が完成した  
明日は近くのSMスーパーマーケットとランドマークの高級食料品店を視察予定

マニラのスーパーマーケット

パソコンの調子が悪くブログに写真が取り込めない 3泊4日の短い訪問

1日はコレヒドール島ツアー、スーパーマーケットの視察は2日だけ

「SM」はフィリピン最大のスーパーマーケット

マカティで宿泊したホテルのすぐ前にある大型商業を視察

日本のGMSによく似ている



中にはユニクロも出店している

スーパーマーケットは地下



フィリピンのスーパーの特徴はデリカ売場が少ないこと  
「中食文化」は日本ほどではない、「外食文化」が主流  
レジ外にベーカリーやケーキなどのテナントが何店舗かはある  
巨大なフードコートがフィリピンの胃袋を満たしている

パパイヤのカット

スプーンを要求したがないので、カット済のカットパパイヤを購入



アジアで必ず買うポメロ

だんだん価格が高くなっている

生ハーブコーナー

欧米に限らず、フィリピンでもハーブは鉢植えを販売



日本でもだんだんと見かけるようになった

できないことはない

価格は 180 円ほど

説明POPも付いている

## 対面魚売場



生魚の迫力ある陳列  
上に丸物、その前に輪切り  
上にはイラスト付きの魚種の説明



## 対面の肉売場

パック詰め商品はない  
ひな鳥 300円ほど  
1kgほどの大きさ  
日本では効率が悪いので、このサイズでは出荷しない



## 豚肉の足骨、皮付き

フィリピンはスペインの植民地が長く続いたため、豚のローストの食習慣がある  
特に子豚は重宝されている  
上は豚足 900円  
けっこういい値段だ



豚の頭 100g200円 牛肉の輪切り  
日本人の発想だと、骨の分まで代金に含まれているのか？



牛の内臓 コジードなどの煮込み料理に使われる  
コンコースの冷凍ケース 小さな冷凍ケースが何台も置かれ、プロモーションに使われている



冷凍フィッシュボール 「しゃぶしゃぶ」と書かれているが、「NABE」と書くべき  
若干のデリカ売場 あまり売れていない様子だ



チルド売場は特殊な陳列ケースを使っている

ロードラインを超えているため、冷却効果は薄い

下にはキャスターが付いていて、手前に引き出せるようになっている



加工肉売場

丸型のハムやブロックハムが主流でスライスものは少ない

日本では、イタリア産の同様の丸ハムが業務スーパー（神戸物産）で売られている

店を見た感想は、生鮮食品の品揃えはよい

野菜、魚、肉とも鮮度はよく、よく売れている感じだ

生鮮食品は大量陳列をおこない見やすい売場を作っている

価格は土地柄もあり、少し高め

マニラのタクシー事情

ホテルでタクシーを呼んでもらってもなかなか来ない

待っている間、フロントガラスに番号の付いた黒塗りの車を何台も見かける

フィリピン版「ウーバー」だ

タクシードライバーからウーバードライバーに乗り換える傾向が見られるようだ

流しのタクシーは仕事が減っているため、メーターを動かさず客と高めの運賃交渉を行う

わずらわしく乗る気にならない

世の中変わってきていることを実感

マカティの大型スーパーマーケット「SM」

「SM」は「シューマート」の短縮したもの

「マニラSM」と検索すると、ほかの意味が出てくるかも知れない

SMのドライ食品はクリスマスの演出

フィリピン人の70%はカトリック

プレゼント用として、日本の籠盛りのようなものが置かれている

日本のSMもプレゼント用商品の提案が欲しい



ドライ売場はスッキリとしている 商品のフェースを十分確保している  
お土産に頼まれた「ココナツジャム」  
常温だからかなり甘そうだ これではなさそうだ



キャラクター商品はフィリピンでも人気だ  
ヨーロッパの製品もよく集めている  
英TESCOのコーナー



TESCOのPB商品

オランダのゴーダチーズ  
オランダではネットに入った3個入りがよく売られている。  
価格も安く食べやすい



インターナショナルコーナーでは、日本「FURUTA」のお菓子も  
アジアコーナー



パン売場の Gondola 片面は大陳売場  
単品縦陳列は参考になる 反対側は品揃え売場



「シュガーフリーのパン」を買って「砂糖たっぷりのココナツジャム」を付けて食べる  
これがいい

レジアウトの催事コーナー



クリスマスバスケット 中は缶詰と瓶詰

「JUST LANDED」 到着したばかりの商品



かつてフィリピンはスペイン、アメリカの植民地であったため、歴史的には貿易は盛んであった世界の商品が集められている レジは「大型カート用」と「小口用」に分けられている  
レジアウトの巨大フードコート 昼時は満席になる



フードコートというより「屋台」だ 地元料理



中華の屋台で「鶏肉麺」をいただく 中華饅頭が付いてくる  
麺は九州の「長浜ラーメン」によく似ている 鶏はムネ肉のホグシ



日本では「サラダチキン」が売れてきているが、サラダに限定せず、ラーメンのトッピングや炒め料理に使える ムネ肉でも加熱しすぎなければ、柔らかく食べられしヘルシーだ

#### 購入商品

カットフルーツあhフォークが添付されている



#### サラダセット

チーズ、ドレッシング、フォーク付き

「Sugar Free」パンと「ココナツジャム」



#### ザクロ飲料

他の果汁が含まれているため「JUICE DRINK」と表示されている



同じくマカティのランドマーク内の高級食料品へ歩いて向かう

マニラ マカティの「ランドマーク」

SMから歩いてランドマークに向かう 緑が多い高級住宅街



アラヤ財閥が開発した地域

フィリピンのコンビニ事情

ジェトロの調査によつと、

日系のコンビニが活況を呈しているらしい

2015年には、セブンイレブン 1405店、ミニストップ 507店

個人経営の「サリサリ」が減って、コンビニが増えている

大型商業施設はマニラ市内にはできていない



懐かしいアメリカの「バッファローウイングチキン」

甘辛手羽先揚げ

店の外にパンの納品

日本と同じ納品コンテナだ



置きっぱなしで商品が無くならない

それだけ安全な環境

ランドマークの入口

フィリピンではだれでも知っている「Jollibee(ジョリビー)」のマスコット



マクドナルドのマスコット

奥は警備員

このスタイルはバチカン市国のスイスの警備兵と同じスタイルだ

本人に聞いても通じない

スーパーは地下

ここを見るのは3回目



手前はフードコート

相変わらず混んでいる

くだもの売場

前に来た時と変わっていない円形の陳列ケース

下の照明も斬新だ



バナナの花

葉をむいて加熱して食べる

ジャックフルーツに似ているが、タイのものと違い表面がフワフワしている



バナナの皮で包んだ「ちまき」のようなもの  
魚売場も変わっていない



頭の向きを上にしていないと目の色が変わってしまう  
魚はパック商品がなく対面のみ



手前は魚肉ソーセージ 鮮魚売り場で魚肉ソーセージの販売もおもしろい  
カーブした陳列ケース



肉売場が広すぎて鮮度はあまりよくない



客はスライス肉を1枚1枚チェックよく吟味して新鮮なものを購入  
漬け肉 これも鮮度が悪い



奇抜な店のデザイン  
こども丸型のハムが主流



クリスマスに向けターキーも  
中国ハムも



日本人留学生と話す

女の子が一人で籠も持たず、バチバチ写真を撮っている

あまりに熱心なので「食品メーカーの方ですか？」と尋ねると

英語の勉強にきているらしい

韓国では安く生活できるフィリピンで英語を習う者が増えているらしい

フィリピンは金持ちとそうでない者の差が激しいため、自分の経済力に合わせて生活できる

日本人のロングステイも多い

成長を続けている国で、決していかがわしい国ではない

奇抜なデザインだ



ドライグロサリー編 エンドはすべて半円形

ハイゴンドラを使用 最上段はストックスペース



大胆な単品陳列

中通路のエンド エンドは単品訴求だ



通路があまり広くないので突き出しやサイド陳列が邪魔

ストッパーが付いていない



さらに、プライスカードも付いていない ハンドラベラーで値付けしている  
SMではプライスカードで管理されている

菓子売り場の什器



棚板がカーブしている 全品値付け 冷凍食品売り場は拡大されている



チキンのメニューが多い

ハンバーガー用冷凍「パティ」



冷凍高級パティ

お買い得パティ

日本人もハンバーガーはよく食べるが、スーパーマーケットでは、「バンズ」も「パティ」も品揃えは少なく家でハンバーガーを作ることはない

冷凍バンズと冷凍パティの品揃えはできないか



「KOBÉ」の表示

よく見ると「CHICKEN」と書かれている

神戸鶏はあまり聞いたことがない

豆腐の品揃えは豊富だ

「日本豆腐」



「京都豆腐」

「中国の豆腐」



外にあったパン

スプレッド 価格は 500 円強



「オリーブ」「オリジナル」は分かるが「KOSHER」の意味が分からない

近くにいた主婦と若い女性に聞いても分からない

ひっとしてユダヤ食の「コーシャ」？

ネットで調べてみるとその通りであった

イスラエル製かと思いきや、オーストラリア産であった

第二次世界大戦前にユダヤ人はオーストラリアにも渡っている

杉原千畝が救ったユダヤ人も神戸からオーストラリアに渡っている

どうしてコーシャがフィリピンで売られているか分からない



別メーカーだが、アメリカのホールフーズでもよく販売されているスプレッド

「乳製品不使用」「グルテンフリー」「ナッツオイルフリー」「大豆不使用」「減塩」「ノンコレステロール」

「無添加」などと書かれている

日本でもこうした商品が欲しい

ドラッグストアのような化粧品の陳列ケース



BBQが盛んな国であるため、アルミトレイも豊富  
相変わらずレジに椅子がある



レジアウトのクリスマスバスケット

ベーカリーのテナント

パンの表面に何やら鯉節のようなものがかかっている

「Spicy Golden Chicken」 130 円



「Spring in the City」 130 円

買って食べてみると、表面は「鶏肉のフレーク」

鶏肉の「桜田夫」版だ これはおもしろい

中国でよく販売されている商品



下の商品は刻み葱を混ぜてある

中にはたっぷりのチキンフレークが詰まっている

少し甘いおいしい

コレヒドール島

もう一つの目的「コレヒドール島」へ向かう

ホテルのコンシェルジュにお願いして現地日本語ツアーに申し込んだが、英語ツアーしかないというので仕方なく申し込む

英語ツアーと日本語ツアーとでは、ガイドのポジショニングの違いで内容が随分違うらしい  
オプションツアーで「コレヒドール島」を訪れる

前にもトライしたが天候悪化で船が出ずキャンセルになった

船は1日1往復しかない

その前にフィリピンの近代史の確認



1521年 マクタン島の戦い

ラブ・ラブ王によって、フィリピンを最初に訪れた「フェルディナンド・マゼラン」は殺害され、マゼラン隊は退却した

フィリピンの植民地時代

1529年 スペインはフィリピンの領有をポルトガルに認めさせた

1565年～1898年 スペイン植民地時代

サンチャゴ要塞跡



マニラ大聖堂

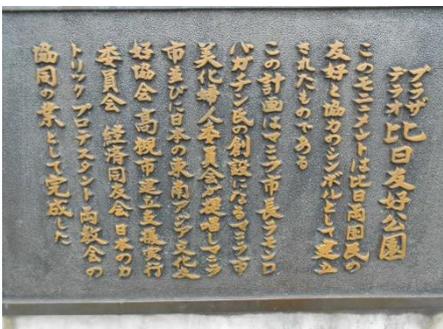
日本との関係

マニラに立つ「高山右近の像」(2011年撮影)

1614年 徳川家康の「キリシタン国外追放令」により、内藤如安らと共にマニラの逃亡  
マニラ到着、1615年マニラで没 40日後の死去であった



右近の遺骨と当時の胸像は見つかっていないという



1898年～1946年 アメリカ合衆国植民地時代

1905年 桂・タフト協定 日本はアメリカのフィリピン支配を認める代わりに、アメリカは、日本の朝鮮における指導的地位を認める

1941年 太平洋戦争勃発 42年アメリカ極東軍降伏

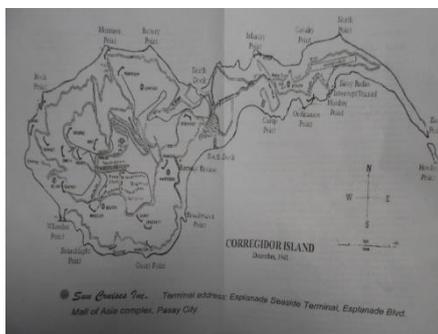
1945年 アメリカ軍レイテ島上陸 日本軍降伏

日本人、アメリカ人がけでなく、多くのフィリピン人犠牲者がでた

1946年 フィリピン独立

コレヒドール島へ向かう

コレヒドール島は、マニラ湾入口にある軍事上の拠点の島



オタマジャクシのような形をしている

スペイン時代は灯台と徴税所であった

アメリカ占領後は、島の住民をマニラに強制移民させた

コレヒドール島が見えてきた



日曜日であったため、幸運にも日本語ツアーがあった

日本人ガイドのエドさん

かなりの日本人びいき



奥に見えるのが「バタンの死の行進」で有名なバターン半島

第二次世界大戦初期、バターン半島で日本軍に投降した米比捕虜は、約 76000 人

食料、水、医薬品の不足で約 2300 人が亡くなった

スペイン時代の棧橋  
ここが徴税所であった



いきなり廃墟が見えてくる

350m も続く旧アメリカ軍の兵舎  
10000 人にアメリカ人と 5000 人のフィリピン人が住んでいたという  
フィリピン人は差別的待遇を受けていたという



日本軍の砲撃によって完全に破壊された

ガイドのエドさん曰く  
「ここに使われたセメントは、日本のアサノセメント」という  
これを建設した当時は日本とアメリカは友好関係にあった



記念のプレート

## 火薬保管庫



## アメリカ軍の砲台

島には 57 門の大砲があったという そのまま残されている

発電所を併設しているため、砲台は電動式



## 砲弾 弾を装填する機械



弾薬庫の天井には砲弾を運ぶリフト

線路もある「マテハン(マテリアルハンド)」が発達していた

ちなみに島にはトロリーバスも走っていた



## ハーン砲台

射程 29000 ヤード



巨大な砲身を持つ

日本軍攻撃した跡



日本軍が占領した貴重な写真を見せてくれた

兵士の年齢は若く、かなり痩せている

砲身は 400 発くらい撃つとだめになるらしい

スペアの砲身 30tもあるためだれも動かさない

アメリカ軍は降伏が近づくまでに砲弾を使い切ったという



防空壕に繋がる階段

コレヒドール島はアメリカ軍の要塞リゾートであった

先に紹介したのは下士官用の兵舎

ここは上官のリゾート施設



山の兵舎は、ダグラス・マッカーサー本人とその家族が住んでいた  
アメリカ軍の兵舎

映画館、9 ホールのゴルフ場、プール、テニスコート、海岸線にはサメよけのネットが張られていたらしい



劇場、ダンスホール跡

1898 年から、約 40 年間くらいは平穏な時を過ごしていた

1942 年 1 月 日本軍はバターン半島に 100 門の大砲を据え付け、7000 トンの砲弾を浴びせ、コレヒドール島の山は禿山になったという

ダグラス・マッカーサーの像



「MacArthur's Departure Point for Australia」

「I shall return」の言葉は有名

「I will back」ではない

「SALL」と「WILL」の違いは、SALL の方が強い意志、責任感がある

深夜にボートでマニラに渡り、飛行機でオーストラリアに逃亡



ガイドは敵前逃亡したマッカーサーの逃亡について触れない  
なぜだ！

「トルーマン大統領の命令により、家族と共にオーストラリアに逃亡」と言われているが、  
オーストラリアに逃亡したのは、マッカーサーだけではない  
フィリピン共和政府大統領「マニエル・ケソン」も一緒に逃亡している  
彼は後にアメリカに渡り亡命政府を樹立するが、1944年結核で逝去  
そのことから、ガイドはマッカーサーの逃亡については触れなくなかったと推測

奥に見えるのはスペイン時代の丘の上の灯台



ここで昼食

とんかつと鶏の煮込み

ガイドのエドさん曰く

「いつも同じものを食べている」



昼食後は記念館見学

左が日本関連、右がアメリカ関連連の展示品



当時のアメリカの新聞

「戦争だ！オアフが日本軍に空爆された」

トルーマン大統領の写真



日本軍の侵攻地域の図

戦艦大和の主砲の砲弾のレプリカ



戦艦武蔵の砲弾

展示物の飯盒と水筒

ご飯が炊けると逆さまにして底をトントンと叩くため、へこんでいる

子供のころ同じものを飯盒炊飯でよく使った



おもしろいものを発見  
戦中のウスキーのポケットボトルとビール瓶

ガイド曰く「これはニッカウスキーのボトル」  
「マッサン(竹鶴政孝)が見つけたウスキーだ」



サッポロビールの瓶  
星のマークがついている  
ガイド曰く「日本で一番古いビールは、サッポロビールです」  
それは間違い、30年前に麒麟ビールが誕生している  
長崎のグラバー邸にその証拠が残されている  
ちなみにサッポロビールの星は「五稜郭」から  
屯田兵が麦を育てていた時代

スペイン時代の建物の写真



そのままの建物が残されている

悲惨な場所へと向かう

アメリカ軍が作った「MALINTA TUNNEL」

堅固なトンネル要塞だ



軍の司令部から病院まで備わっていた

一部がそのまま保存されている

占領後は日本軍が使用

1945年、アメリカ軍は8000トンの砲撃を加える

その後2000人の落下傘部隊で島を攻撃



トンネル内部

アメリカ軍司令部跡



病院跡

## 日本軍司令部跡



アメリカ軍が作ったガソリンタンク

日本軍はここを爆発させてトンネル内で玉砕

ガイドは 2500 人がこの中で亡くなったという 食料も銃弾もすべて底をついていた  
ケルンが積まれている



## スペイン時代の要塞



堡壘跡 隊の名前が書かれている



この一室でも  
大きなヤモリが見ている



線香を立て参加者全員で1分間黙禱

慰霊碑

ここでも線香を立て合掌



「戦艦武蔵乗員集結の地 武蔵会」の碑

裏は「武蔵会関係訪問者名簿」  
最初に「栗田建男」の名前が見える  
レイテ沖海戦で栗田艦隊の指揮官  
「謎の反転」は今でも議論されている  
昭和19年10月25年(1944年)と記載  
1977年没



日本人墓地

出身地を見ると九州出身者が多い

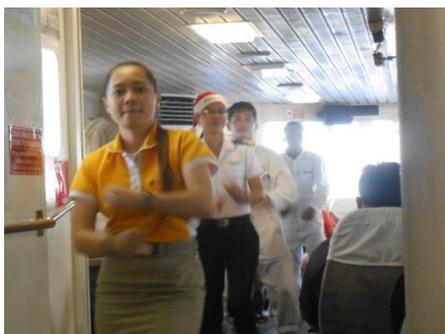
キレイな「南洋桜」が咲き誇っている

機会があったらガイドのエドさんが元気なうちに訪れてはいかがでしょう



マニラ港に向けて出港

消沈しきっている私たちがスタッフの踊りが励ましてくれる



マニラ湾が見えてくる

ハワイパールハーバー記念館、サイパン、テニアン、ロタ、グアム、パラオ、シンガポール、マレーシア、タイ(タイメン鉄道)、ミャンマー(インパール慰霊碑)と、スーパーマーケットを視察しながら戦跡巡りをし、慰霊してきた

フィリピンも戦場であったことから前から気になっていた

今回訪れることができ幸いです